(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和　3年　9　月　20　日　　企業･団体名：有限会社戸田商行

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場･社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ･性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		･昭和40年代から行っている障害者雇用を通じ、多様性を認め合う文化性を存在させ、採用、教育、福利厚生など差別のない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している	1.1			4.5	5.1 5.5 5.a			8.5 8.8		10.2 10.3							
	2	【ハラスメント禁止】 ･セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール･教育･相談体制を整備している	●		･ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している					5.1 5.5			8.5 8.8							16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ･男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		･業務効率化による労働時間の短縮により、半日で使用できる有給休暇制度の設置や、有給休暇の取得奨励、育児や家庭の事情に応じて、本人の希望する勤務時間に対応している					5.1			8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ･外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		･外国人労働者の採用はないが、将来採用があった場合は適切な処遇を行う				4.4						10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ･業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		･専門家を招いて、社員向けの労働安全衛生講習会を開催している			3.8	4.4				8.2									
	6	【メンタルヘルス】 ･労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		･メンタルヘルスに関する社内のサポート体制の構築や、専門家のサポートを実施している			3.7														
	7	【ダイバーシティ経営】 ･多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		･障がいの種類や程度に応じた合理的配慮を行ったうえで、安全に配慮した配置や、適正に応じた職場環境の改善を行っている ･性別や障害に関わらず、違いを認め合う大切さの啓発をしている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ･適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		･毎日の昼礼で社員全員による教養本の輪読などを行っている。 ･管理職育成や社員教育で外部研修を受講している。				4.3 4.4 4.5	5.5			8.2									
	9	【公正な待遇】 ･雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		･各種法令の内容を理解し社員には公正な待遇を行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ･従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	･「高知家」健康企業宣言を平成31年にし、社員の健康維持、促進に取組んでいる。			3.7														
	11	【新しい生活様式への対応】 ･新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	･手指の消毒、マスクの着用、身体的距離の確保を徹底している。 ･ウエブ会議やテレワークを積極的に導入している。			3.7 3.8														
	12	【デジタル化の推進】 ･労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ･アフターコロナ時代における社会･経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	･事業戦略、経営計画において、これまで以上にデジタル化を強化する。 ･ホームページを充実させ発信力の強化に取組む。								8.2	9.1								
環境	13	【廃棄物】 ･廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		･廃材として排出される木の皮や、端材は全て焼却し、もくめん乾燥の木質バイオマス燃料として再利用している。 ･焼却灰は農業用の灰肥料と再して利用している							7.2				11.6	12.2 12.4 12.8		14.1	15.1		
	14	【エネルギー】 ･電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		･【予定】電気やガソリンのエネルギー使用量は算出し、効率化を進める ･製品を乾燥させる熱源は製造過程で発生する木くず等廃材を利用し木質ボイラーを設置して化石燃料･電気の削減に努めている。							7.2 7.3				11.6	12.2 12.4 12.8			15.1		

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		・【予定】温室効果ガスの排出量は測定の予定 ・2021年12月太陽光発電設備を新規導入し、排出量の削減に取組む							7.2 7.3				11.6	12.2 12.4 12.8					
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		・有害化学物質は現在は使用していない。 ・今後使用する場合は法令等で規制されている有害化学物質を把握し適切に使用する。											11.6	12.4					
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・高知県産木材を主原料に木毛商品を製造し生物多様性の保全に努めている。						6.6						12.2 12.4 12.8		14.1 14.2	15.1 15.4		
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・環境に配慮した商品の生産、サービスに努めている。 ・日常の社員の行動において、石油化学製品のレジ袋などの使用削減に務めるように啓発・教育を行っている。												12.5		14.1 14.2			
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●	・2021年12月カーボンニュートラル（実質再エネ100%）の電力供給を実現する。							7.1 7.2 7.3		9.4		11.6	12.8					
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●	製造過程に、水を使用しない工程を採用。						6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●	【予定】ISO14001の取得する			3.9			6.4 6.6	7.1 7.2 7.3					12.2 12.4 12.8	13.3	14.1 14.2	15.1		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●	・自社WEBサイトにおいて、カーボンオフセットクレジット事業の参加や、木質バイオマス発電の製造工程を発信している												12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●	・2021年12月太陽光パネルや蓄電池を設置し、再生可能エネルギー利用推進に努める。							7.2					12.2 12.4 12.8	13.1 13.2				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●	・原材料は合法的に伐採された、高知県産の木材を調達し木毛商品を生産している。												12.2 12.4 12.8	13.1 13.2	14.1 14.2	15.1 15.4		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●	・余った食材は冷凍保存して残さず消費するようにしている。 ・外食時は食べきれる量を注文するうようにしている。	1	2				6.4						12.3 12.5		14.1 14.2	15.1 15.4		
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている。															16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・会社として公正な取引につとめている。昼礼などで社員に重要性を発信している。															16.7	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・商標登録等知的財産権の取得・管理をしている。								8.2	9.4								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・情報漏洩については、社内にて啓発活動を行っている															16.3	

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目															
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●	・自社製品のサプライチェーンを把握している																16.3	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●	・取引先に関心を持ち、対話を通じ、人権侵害や環境保護等の取組み状況を確認している。					5.1			8.2		10.2		12.2 12.4 12.8	13.1 13.2	14.1 14.2	15.1 15.4	16.3	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		・木毛製品を使用時に想定されるリスクの対策を実施し、取り扱い説明文を作成している			3.9									12.6 12.8					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		・取引先からのクレーム対応などに対応する仕組みを構築している。 ・木毛製品に金属片等が混入しないよう検査を行っている。									9.1			12.2 12.4 12.8					
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・合法木材の証明のあった原木を仕入れて木毛製品を製造している。 ・再生紙の利用を推進している。												12.2 12.4 12.8	13.1 13.2	14.1 14.2	15.1 15.4		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●	・カーボンオフセットクレジットの購入により、森林環境の保全に寄与している											11.3 11.4 11.5	12.2 12.4 12.8	13.1 13.2	14.1 14.2	15.1 15.4		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●	・工場見学を通じ、森林保全の必要性や、再生可能エネルギーとしての利用を啓発している				4.1 4.5							11.3 11.4 11.5		13.1 13.2	14.1 14.2	15.1 15.4		
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・地域の小中学校や老人クラブなどと対話、見学会を行い事業の影響を把握して適切な改善に努めている。				4.1 4.5							11.3 11.4 11.5			14.1 14.2	15.1 15.4		
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	・小中学生の工場見学の受入れや出前授業、インターンシップ生の受け入れなどを積極的に行っている。				4.1 4.5							11.3 11.4 11.5						
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	・高知県産木材を主に調達し、地産地消・地産外商に努めている。									9.2		11.3 11.4 11.5	12.2 12.4 12.8					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・毎日の昼礼の時間や外部研修などで社員への啓発を行っている。																16.1 16.7 16.10	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・経営指針を明文化し、社長が会社のあるべき姿、将来展望を示し社員に説明し共有している。								8.2	9.2								17.1
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・担当の役員を任命している。																16.1 16.7 16.10	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・毎年、金融機関や取引先などを招き、経営報告発表会を行っている。																16.1 16.7 16.10	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	・法令順守の方針や、重要性を社員に啓発している。																16.1 16.7 16.10	

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	【予定】リスクマップ等を作成して洗い出し、評価を行ったうえで、適切な対策を講じている。																16.1 16.7 16.10	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	・CSRの考えに基づき、HP等で取組みを公表している。																16.1 16.7 16.10	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	・南海トラフ地震に備えてBCPを策定し、年の1度の訓練と見直しを行っている。									9.1		11.3		13.1			16.1 16.7 16.10	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	【予定】後継者候補の育成に取組む。								8.2	9.1								
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・社内で飲食料品や資機材を備蓄している。 ・社員にハザードマップを周知している。 ・定期的に避難訓練を行っている。 ・事業継続計画(BCP)を策定している。											11.3		13.1			16.1 16.7 16.10	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	・地域消防団(役員が元消防団員で救急救命士の資格を持つ)の活動をよく理解し、地域の現状を把握しており防災力向上の取組みを進めている。	1.5		3. d							10.2	11.5		13.1			16.7	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	・社内でのSDGsに関する研修を行い、SDGsへの意識の浸透に取組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	・高知大学地域共同学部の学生をインターンシップを受け入れている。 ・地域の各種学校や高知大、京都女子大などで出前授業を行っている。				4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●	・果樹(土佐文旦・ゆず等)の皮や摘果実や桧・杉の葉部などの未利用材をオイルを抽出する事業を新規に行って行く。								8.1	9.1		11.a						